



目黒南中だより

令和7年度 第6号

令和7年10月6日発行

目黒区立目黒南中学校



目黒南中学校ホームページ

【教育目標】 自立 協創 信頼

「南魂」を発揮し、「南の風」を吹かせた区連体 9種目で第1位

校長 金子弘樹

10月2日(木)、駒沢陸上競技場で第79回目黒区立中学校連合体育大会が実施されました。さわやかな秋空の下、「南魂」を発揮し、「南の風」を吹かせ、「チーム目黒南中学校」の力で目黒南中学校にとって心に残る大会を協創することができました。

私達選手に向けた心強い応援をありがとうございます。

陸上は個人で競う競技ですが、仲間の声援が後押しとなり、普段以上の力を発揮できる、チームで支え合う競技だとも私は思います。今回は目黒南中として参加する初めての区連体で不安や緊張もありますが、それぞれが自分の目標へ向けて全力を尽くしたいと思います。

私は、今まで積み重ねてきたことに自信をもって本番に臨みます。また、今年は先生方だけでなく、外部のコーチの方からご指導をいただきました。とても貴重な体験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。多くの方々の支援と応援を胸に選手一同一丸となって頑張ります。

目黒南中として初めて参加する区連体をチームで支え合い、心に残る大会にしましょう。当日もみなさんの応援を力に変えて、全身全霊で挑みます。最後の瞬間まで気を緩めず、全員で力を合わせ、団結し、充実した大会にしましょう。 壮行会 選手代表あいさつ 中島 春

壮行会では、選手団に「最高目標と最低目標を設定して、最後まで全力で頑張りたい」、応援団に「声と手拍子、全身を使って、選手の背中を押してほしい」と激励の言葉を送りました。

この激励の言葉を遙かに超える選手団と応援団の頑張りがあり、多くの人の心を動かし笑顔の花を咲かせてくれました。競技終了直後の選手の笑顔、悔し涙、「ありがとうございました」の言葉。この一つ一つが緊張や不安を乗り越えて全力を出し切ったアスリートの姿であり、「南魂」の表現でもありました。競い続けた試技、競技場の観衆の目を集めた走高跳。競技場に響き渡る目黒南中応援団の声、そしてエールを送ってくれた他校生の声。「南の風」を吹かせてくれた皆さんに感謝です。目黒南中学校の礎がまた一つできました。

